

全国各地に、さまざまな形の神楽が伝えられているなかで、安芸高田市の神楽は、出雲流神楽が石見神楽を経て、江戸期にこの地域に伝えられたと考えられます。また、その過程で、九州の八幡系の神楽や高千穂神楽・備中神楽、さらに中国山地・帯に古くから伝わる農民信仰などの影響を受けて、現在の形態になったといわれています。その特徴は、演劇性が強いという点で、極めて大衆的でのびのびした伝統芸能に発展しました。現在では市内に二十二の神楽団が神楽を舞い、舞人たちはその技を磨いています。ほぼ年間を通じて、神楽にいそしむ団員たち。そのせいか「神楽で食べているの？」とよく聞かれます。が、団員にとって神楽はあくまでも「祭事」。職業ではありません。日常は各々、仕事や勉学に励み、神楽の継承と保存に大きな役割を担っています。この大衆化が、人々の神社・神に対する信仰心を繋ぎ止め、自然や神への畏敬・恩恵に対する先人の心を今に止める大きな役割を果たしているといえます。安芸高田市の神楽には、劇化の進展のなかにも、神人和楽という神楽の原形が息づいているのです。



安芸高田二十二神楽団リスト



- 1 吉田神楽団
- 2 高猿神楽団
- 3 八千代神楽団
- 4 横田神楽団
- 5 中北神楽団
- 6 上河内神楽団
- 7 黒瀧神楽団
- 8 桑田天使神楽団
- 9 天神神楽団
- 10 青神楽団
- 11 錦城神楽団
- 12 美穂神楽団
- 13 塩瀬神楽団
- 14 神幸神楽団
- 15 広森神楽団
- 16 日吉神楽団
- 17 原田神楽団
- 18 佐々部神楽団
- 19 梶矢神楽団
- 20 羽佐竹神楽団
- 21 山根神楽団
- 22 来女木神楽団

二十二神楽団についてのお問い合わせは

安芸高田神楽協議会 事務局
安芸高田市産業振興部商工観光課

〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田 791 TEL0826-47-4024

安芸高田神楽は年間150日、神楽門前湯治村にて公演開催

お湯よし、宿よし、神楽よし 〒731-0612 広島県安芸高田市美土里町本郷4627
神楽門前湯治村 TEL 0826-54-0888(代) 湯治村とうじむら 検索

百万一心で伝える

百万一心で伝える ① ひろしま 安芸高田神楽

神楽の守り人

① ひろしま 安芸高田神楽

広島県の北部に位置する安芸高田市は、戦国の武将毛利元就の故郷です。この地では、古くから伝統芸能としての神楽が盛んに伝承され、「ひろしま安芸高田神楽」という他にない独自の神楽のブランドに成長いたしました。きわめて演劇性が高くスピード感にあふれ、一年を通して毎年15万人以上の人々が鑑賞に来られるまでになりました。

私達は今、毛利元就の遺訓「百万一心」の心意気で、我が故郷の誇りである「ひろしま安芸高田神楽」を大切なおもてなしのコンテンツとして地域を挙げて取り組んでおります。

”自然よし”、“人情よし”、“神楽よし”の安芸高田市。是非一度「ひろしま安芸高田神楽」をご覧ください。

安芸高田 二十二神楽団

◎ 神楽のはじまり

神楽とは、神座(かむくら)に神を招き、神の力を招き鎮めることによって、生命力を高めようとする儀式、神と人が共に享樂することによって神の力を得ようとする神人和楽の神事です。

その起源は、「紀記説話」のなかの「天岩戸伝説」にまで遡るともいわれます。「天岩戸伝説」とは、太陽の女神天照大神が天の岩戸の中に籠ってしまわれたとき、これを引き出すべく神々が協議して、天鈿女命が岩戸の前で乱舞しましたが、これが余りに滑稽だったので、外の神々は大騒ぎとなり、不審に思った天照大神が岩戸をそとと開けたところ、その時とばかり手力男神が岩戸をこじあげて、女神を外に連れ出したというあの有名な神話ですが、この天鈿女命がおこなった乱舞こそ、神楽の起源だといわれるのです。すなわち、一年のうちで最も太陽の力が弱まる時期に、その太陽の再来と生命の再生を願って神威を招き迎え、生命力の強化を祈願した鎮魂の儀式が、神楽の起源です。

